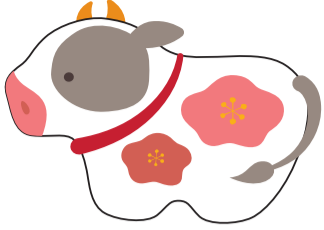


迎春



# 府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2109号 2021年1月1日

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/https://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/小松 康則 編集人/樋口 浩之  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。



### 府職労新キャラクター

2021年4月6日、府職労は結成75周年を迎えます。結成75周年にあたり、ロゴとキャラクターをリニューアルしました。拡大執行委員会で「府職労を表すイロとカタチ」をみんなで描き、みんなのイメージを重ね合わせました。そこから出てきたのは「多様性を大切にする」「違いを認め合う」「包み込む、受け止める」「未来への希望」そんなイメージでした。そして誕生した新ロゴとキャラクターです。今後ともよろしくをお願いします。

## 新春対談

# 2020年を振り返って マンパワーの 重要性を実感

聞き手  
小松 康則 委員長

植村 亜由 副委員長  
(保健師 藤井寺保健所)

山本 桃代 副委員長  
(看護師 はびきの医療センター)

前田 治敏 執行委員  
(社会福祉職 東大阪子ども家庭センター)

西野 健造 総務農林支部長  
(行政職 泉州農と緑の総合事務所)

池邊 勇人 府税支書書記長  
(行政職 北河内府税事務所)

黒木 海任 青年部副部長  
(行政職 中小企業支援室)

菊本 浩子 急性期・総合医療センター支部長  
(看護師 急性期・総合医療センター)

小松 みなさん新年あけましておめでとうございませう。昨年は新型コロナウイルス感染症(以下、コロナという)の拡大に尽きる一年だったと思います。それぞれ振り返ってどんな一年でしたか。

植村 電話を取り続けた一年でした。保健所の電話回線がパンクすることが続いて「電話がつかない」というお叱りもたくさんありました。あと、土日の連休が当たり前でなくなった一年でもありました。

前田 ずっとマスクをしている一年でした。コロナを理由に家庭訪問などもできず、ゆっくりと話ができず、相手の表情がわからないことも多かったです。もともと忙しいですが、緊急事態宣言後に一気に忙しくなってきた感じがします。外出自粛などで定期的な継続支援がで

きないことが悩みです。池邊 いろいろな意味で我慢の一年でした。高校三年生で運動部に入っていた娘も大会に出場できず引退し、修学旅行や卒業式もできませんでした。帰省も歓迎できません。多くの人がいろんなことを我慢した一年だったと思います。現在の感染拡大の状況と政府の対応を見てみると、我慢してきたことが報われたのか疑問に思います。

西野 大変悔しい思いをした一年でした。府民の命や健康、安全を守ろうと頑張っても、いろんな壁に阻まれて、できることが限られていると感じることがありました。特に保健所や病院の人が足りていないので、もっと応援を出したいと思っても、こちらも人の余裕がなく、できないことの悔しさがありました。とにかく

山本 ひたすら我慢して、今大阪府には危機管理の余裕がないことを実感しました。今までのツケが来たと感じざるを得なかったです。

菊本 申し訳ない気持ちと感謝の一年でした。私は、直接コロナ患者の対応はしていませんが、コロナ病棟勤務の看護師の大変さがわかるだけに、医療従事者や保健所職員に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。物資の不足や感染の危機も感じながら過ごしました。コロナ重症センターも現場の声を聞かずにトップダウンで進められ、怒りも感じています。

山本 ひたすら我慢して、今大阪府には危機管理の余裕がないことを実感しました。今までのツケが来たと感じざるを得なかったです。

菊本 申し訳ない気持ちと感謝の一年でした。私は、直接コロナ患者の対応はしていませんが、コロナ病棟勤務の看護師の大変さがわかるだけに、医療従事者や保健所職員に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。物資の不足や感染の危機も感じながら過ごしました。コロナ重症センターも現場の声を聞かずにトップダウンで進められ、怒りも感じています。

山本 ひたすら我慢して、今大阪府には危機管理の余裕がないことを実感しました。今までのツケが来たと感じざるを得なかったです。

## 遊歩道

1年前の今頃、日常生活の中にこまごまマスクが浸透している、透してると、誰が予測できただろうか。「新しい生活様式」として外出時のマスク着用が当たり前となっている現在、多くの人が呼吸が浅くなる傾向にあると言われている▼マスクをつけていると、息苦しさで呼吸になりやすい。また、緊張や不安、ストレスのかかる状況が長くなると、さらに呼吸が浅くなってしまふ。コロナの収束が未だ見えないなか、改めて呼吸について見直す必要があると思う▼人間が生きていく上で必要な生命維持の機能、例えば心臓の動き、体温調節、消化吸収機能などは、私たちの意思とは無関係に、自動的にバランスが保たれている。それらは自律神経系と言われ、その中で唯一コントロールできるのが呼吸だ▼先が見えない状況の中では、人はつい未来の不安を先取りしてしまう。そんな時、自分の呼吸に意識を向けることで「今ここ」に戻って来ることが出来る。呼吸が深くなると免疫力が高まるとも言われ、心身の状態を整えることができる▼新春の光の中、今の場所ですっかり澄んだ空気を吸い込んでみてはいかがだろうか。

(2面に続く)

(ウ)